

分野	荒廃山地の復旧等の治山			事業番号	4	事業名	山地治山(予防治山)			
市町村名	下諏訪町	ふりがな 箇所名	たきのきわ 瀧乃沢			事業年度 (完了年度は見込み)	H25 年度～		H25 年度	
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)		財源内訳(千円)			
	全体	溪間工 谷止工2個			19,000		国庫	その他	県債	一般財源
	H25年度	同上			19,000		9,500		8,550	950
箇所評価	区分	評価項目・指標等			評価			ランク	評点	
	(20)	必要性	保全対象人家	■ 10戸以上	□ 1～9戸	□ 0戸	B	5		
			保全対象公共施設	□ 2箇所以上	■ 1箇所	□ なし				
		保全対象に災害時要援護者関連施設があるか	□ 重要施設	□ 一般施設	■ なし	0				
		保全対象(保安林・林業用施設)	□ 「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上	□ 保安林率30%以上50未満又は流域対策上保全すべき森林あり	■ 保安林率30%未満				2	
		小計								10
	(15)	重要性	過去の災害履歴	■ 過去5年に1回以上	□ 災害履歴地	□ なし	A	5		
			交通遮断による地域経済などへの影響	□ 大	■ 中	□ 小			3	
		防災計画上の位置づけ	■ あり	□ なし		5				
		小計						13		
	(20)	効率性	費用対効果(B/C)	■ B/C2.0以上	□ B/C1.0以上2.0未満	□ B/C1.0未満	A	10		
			早期発現度	■ 3年未満	□ 3年以上5年未満	□ 5年以上			7	
		流域の総合調整	□ あり	■ なし		0				
		小計						17		
	(25)	緊急性	最寄の保全対象までの距離	■ 50m未満	□ 50m以上200m未満	□ 200m以上	B	7		
地形、地質の状況			□ 火山噴出物、花崗岩、第3紀層、破砕帯かつ地すべり地形	■ 火山噴出物、花崗岩、第3紀層、破砕帯	□ その他	2				
平均溪床勾配(平均山腹勾配)			■ 10°以上(30°以上)	□ 5°～10°未満(20°～30°未満)	□ 5°未満(20°未満)				3	
下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)			□ なし	■ あり(概ね満砂)	□ あり(ポケットあり)	3				
危険地区危険度			□ Aランク	□ Bランク	□ Cランク				■ なし	0
小計								15		
(20)	計画	地域からの要望	■ 地域住民活動強い	□ 市町村要望有り	□ 特に要望ない	A	10			
		事業情報の共有	□ 関係者以外にも周知	■ 関係者中心に周知	□ 特に周知していない			3		
	住民参加の状況	□ 住民が直接参加	■ 住民市町村意見を反映	□ 住民意見反映していない	3					
	小計								16	
費用対効果(B/C)		22.19		評価の合計			B	71		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	計画地は、国道142号沿いの一級河川承知川左岸に位置し、平成24年7月9日の梅雨災により、溪岸浸食が進行し、下流部に土砂が流下した。現在、下諏訪町で応急対策として大型土のうを設置し、対応しているが、再度の降雨で土砂流下の危険が懸念される。								
	地域からの要望経緯	H24.7、地元及び下諏訪町役場から治山事業の要望される。								
	事業説明等の経緯	H24.7 下諏訪町と合同で現地調査を実施 H24.8 現状について下諏訪町と合同で再調査を実施 H24.11地権者を対象に説明会を実施								
	環境・景観への配慮項目	特になし。								
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。								
	特記事項	特になし。								
地域の合意形成	□ 全員賛成		■ 概ね賛成		□ 過半数賛成		□ 動向不明			
部意見	平成24年7月豪雨により、溪岸浸食が進行し、溪床内に不安定土砂が堆積しており、時期出水時には直下の人家等に被害を及ぼす恐れが高いため、対策を行う必要がある。				行政改革課意見	重要性が認められる。				